

「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」個別事業の評価一覧

事業の評価											予 算	担当課					
■ 施策(8) 放課後児童クラブ											予算-3次		※赤字が評価を記載した課				
実施年度	事業番号	事業名	事業概要	【Plan】計画		【Do】実施					【Check】評価			【Action】改善		予算事務事業名	3次プラン取り組みNo.
				令和元年度の事業計画	令和元年度の実績	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	評価	5ヵ年評価の理由(分岐)	次年度達成率	課題や改善内容		
1	176	放課後児童クラブにおける児童受入のための施設整備	児童数の増加により、本市の基準で定める児童の専用区画の確保が難しくなる放課後児童クラブについて、計画的に増設等の施設整備を行う。	①松ヶ江北小学校内クラブ他9箇所施設整備を実施。 ②企救丘小学校区内クラブで新規プレハブ施設のリースを実施。 ③足原小学校区内クラブの改築に係る実施設計を実施。	①松ヶ江北小学校区内クラブ他6箇所施設整備を実施。 ②企救丘小学校区内クラブで新規プレハブ施設のリースを実施。 ③足原小学校区内クラブの改築に係る実施設計を実施。	放課後児童クラブの待機児童数(4/1現在) [現状値] 0人 [目標] 0人 (H25年度) 0人 (令和元年度)	区分	0人	0人	0人	0人	0人	概ね達成 ・施設整備等を行い、待機児童数は概ね0人を維持できた。	・待機児童を出さないため、引き続き施設の増設や教室改修等に取り組む。	放課後児童クラブ整備費 ・放課後児童クラブ管理費(債務)	50	子家・子育て支援課
令和元年度実績	0人	0	36	0人	0人												
達成率	100%	100%	0.0%	100%	100%												
達成率	100%	100%	0.0%	100%	100%												
1	176	放課後児童クラブの利用内容の充実	利用者ニーズに対応するため、クラブの開設時間や保護者負担金等の標準化を推進する。なお、開設時間については、「11の壁」解消のため、午後7時までの延長を推進する。また、児童に適切な指導が行えるよう、児童おおむね40人に対して、放課後児童支援員等の2人配置を促進する。	①クラブの開設時間の延長の推進 ②放課後児童支援員資格認定研修への受講	①午後7時以降まで開所するクラブの割合 64.7% ②放課後児童支援員資格認定研修受講者数 264名	午後7時以降まで開所するクラブの割合 [現状値] 13.7% (H25年度) 50% (令和元年度)	区分	現状値比増	前年度比増	前年度比増	前年度比増	前年度比増	達成 ・午後7時以降まで開所するクラブは、目標の50%を達成した。 ・放課後児童支援員資格認定研修の周知を図り、放課後児童支援員等の2人配置を行った。	・開所時間延長について、協力や理解を求めたりすることで、午後7時以降まで開所するクラブの割合の増加に取り組む。 ・福岡県が主催で行う放課後児童支援員資格認定研修の受講がスムーズに行われるよう、各クラブへの情報提供や申込の取りまとめを行い、放課後児童支援員等の2人配置を進める。	放課後児童クラブ運営費	51	子家・子育て支援課
令和元年度実績	12.0%	33.8%	40.3%	40.3%	64.7%												
達成率	87.6%	281.7%	119.2%	100%	100%												
達成率	24.0%	67.6%	80.6%	80.6%	100%												
2	177	放課後児童クラブの運営体制の充実	障害のある児童等への対応が適切に行えるよう、体系的な研修制度の整備や、巡回カウンセラーの派遣などにより、放課後児童支援員等の資質向上を図る。 また、放課後児童クラブアドバイザーの派遣を通じて、障害のある児童への対応等で、クラブと学校等との相互の関係づくりを促進する。 運営委員を対象とした運営事務の専門研修の実施や個別課題への対応を支援する巡回相談を行い、運営体制の充実に努める。	①指導員研修の実施 ②放課後児童クラブアドバイザーの派遣 ③障害児の受入の推進	①8種の指導員研修を延べ13回実施 ②放課後児童クラブアドバイザーを延べ(集計中)クラブに派遣 ③293人の障害児の受入	障害児の受入数 [現状値] 284人 (H26年度) [目標] 障害児の受入の推進	区分	障害児の受入の推進	障害児の受入の推進	障害児の受入の推進	障害児の受入の推進	障害児の受入の推進	達成 ・指導員の研修を予定どおり実施。 ・臨床心理士、アドバイザーによる訪問指導等を実施し、クラブの実情に即した助言等を実施。 ・取組みの結果、障害のある子どもへの理解が進み、児童の受入が促進されている。	・指導員研修の充実や、臨床心理士、アドバイザーによる訪問指導等に引き続き取り組み、職員の資質向上に取り組む。 ・また、自己評価を実施したクラブに放課後児童クラブアドバイザーを派遣し、個別課題への対応を支援し、運営の質の底上げに努める。 ・放課後児童クラブアドバイザーを、学校に派遣し、クラブ・学校相互の連携づくりに努める。	放課後児童クラブ管理費	52	子家・子育て支援課
令和元年度実績	290	290	309	320人	293人												
達成率	102.1%	102.1%	108.8%	112.67%	103.17%												
達成率	102.1%	102.1%	108.8%	112.67%	103.17%												

事業の評価値											予算		担当課					
■ 施策(8) 放課後児童クラブ											予算・3次		※赤字が評価を記載した課					
【Plan】計画				【Do】実施					【Check】評価		【Action】改善		予算事業名	3次プラン 取り組み No.				
指図書 番号	事業 番号	事業名	事業概要	令和元年度の 事業計画	令和元年度の実績	活動指標					評価	5ヵ年 評価の理由 (分析)	達成 率	達成 率 達成 率 達成 率	課題や改善内容	予算事業名	3次プラン 取り組み No.	
						区分	27年度	28年度	29年度	30年度								令和元年度
2	176	放課後児童ヘルパーの活用	地域の特色を活かした放課後児童クラブの活動を推進していくため、各クラブが、地域の人材を「放課後児童ヘルパー」として活用するための取り組みを支援していく。	①放課後児童ヘルパーを活用した夏の教室(地域版)の実施	①放課後児童ヘルパーを活用して夏の教室(地域版)を実施したクラブの割合 45.9%	ヘルパー活用クラブの割合	現状値比増	前年度比増	前年度比増	前年度比増	前年度比増	達成	・地域の人材を活用することで、普遊びなどの体験活動に取り組み、地域の特色を活かした魅力あるクラブ運営につながった。	・地域の人材を活かした魅力あるクラブづくりを進める。 ・必要に応じて、他クラブの取り組み状況を紹介したり、個別に助言等を行いながら、各クラブの取り組みを促進する。	予算なし		子家・子育て支援課	
						【現状値】	35.5% (H25年度)	48.5%	48.8%	48.8%	50.8%							45.9%
						【目標】	向上	136.6%	100.6%	100.0%	104%							90.4%
						達成率	136.6%	137.5%	137.5%	143%	129.3%							
2	176	夏の教室(地域版)の実施	放課後児童ヘルパー等地域力の活用や大学との連携などにより、夏季休業日中に小学校で1週間程度実施されている「夏の教室」の地域版等を放課後児童クラブで実施し、生活体験やスポーツなど体験の機会を増やすとともに、学習習慣を養う。	①放課後児童ヘルパー等を活用した夏の教室(地域版)の実施	①夏の教室(地域版)を実施したクラブの割合 45.9%	実施クラブの割合	現状値比増	前年度比増	前年度比増	前年度比増	前年度比増	達成	・体験活動の実施にあたり、地域の人材を活用するとともに、各クラブで活動内容を企画・実施できた。	・地域の人材を活用し、地域の特色を活かした魅力あるクラブづくりを進める。 ・必要に応じて、他クラブの取り組み状況を紹介したり、個別に助言等を行いながら、各クラブの取り組みを促進する。	放課後児童クラブ等活動支援事業		子家・子育て支援課	
						【現状値】	35.5% (H25年度)	48.5%	48.8%	48.8%	50.80%							45.9%
						【目標】	向上	136.6%	100.6%	100.0%	104%							90.4%
						達成率	136.6%	137.5%	137.5%	143%	129.3%							
2	180	放課後ジュニアリーダープログラムの展開	高学年児童をジュニアリーダーとし、指導員 放課後児童ヘルパーとともに、低学年児童等のお世話をすることで、高学年児童の思いやりの心や自立を促す。	①放課後ジュニアリーダーを活用した夏の教室(地域版)の実施	①放課後ジュニアリーダーを活用した夏の教室(地域版)を実施したクラブの割合 45.9%	実施クラブの割合	現状値比増	前年度比増	前年度比増	前年度比増	前年度比増	達成	・高学年児童をリーダーに位置づけることで、異学年が一緒になって、普遊びなどの体験活動に取り組むことができるなど、地域の特色を活かした魅力あるクラブ運営につながった。	・放課後ジュニアリーダー等を活用し、地域の特色を活かした魅力あるクラブづくりを進める。 ・必要に応じて、他クラブの取り組み状況を紹介したり、個別に助言等を行いながら、各クラブの取り組みを促進する。	予算なし		子家・子育て支援課	
						【現状値】	35.5% (H25年度)	48.5%	48.8%	48.8%	50.80%							45.9%
						【目標】	向上	136.6%	100.6%	100.0%	104%							90.4%
						達成率	136.6%	137.5%	137.5%	143%	129.3%							